

## 統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 政策立案と統計	講義科目	人口統計と少子化対策	講義時間	2コマ
講師	鎌田 健司 国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部室長				

※1コマ70分

### 講義のねらい

本講義では人口統計及び人口学的視点からみた少子化の捉え方について学び、地域施策としての少子化対策の現状と課題について事例をもとに概観したい。

前半では人口減少に至る人口学的説明を概観した後、少子化を測定する代表指標である合計（特殊）出生率の概念と計算方法、同指標を用いた少子化の人口学的意味について主に説明し、後半では少子化対策に関する自治体の施策に関する調査結果や取り組み事例の紹介、その他人口統計と関連施策に対するいくつかのアプローチについて説明する。

### 指導項目と内容

指導項目	内 容
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人口統計と少子化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口変動と人口減少</li> <li>・少子化と合計（特殊）出生率</li> <li>・出生数の構造分析</li> </ul> </li> <li>○ 人口統計と政策立案                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化に係る先行研究</li> <li>・少子化の要因分析事例</li> <li>・小地域統計を用いた課題解決</li> </ul> </li> </ul>	<p>人口は出生・死亡・移動によって生じる。戦後の人口減少がどのような要因によってもたらされてきているのかを概観</p> <p>少子化の代表指標である合計（特殊）出生率について、その考え方と測定方法等について説明</p> <p>人口減少社会においては合計（特殊）出生率だけでは少子化の理解には不十分であり、年齢構造の変化も含めた出生数の構造分析について説明</p> <p>少子化に関する先行研究について概観し、有効な施策とその評価方法ならびに分析単位によって結果が異なる場合等について説明</p> <p>少子化の要因分析事例の紹介</p> <p>小地域別将来推計に関する説明と GIS を用いた課題解決事例について紹介</p>

### 講義形態 指導方法

スライド（PowerPoint 又は PDF）などを用いた講義方式による。

### 受講に必要な 基礎知識等

特にない。